

しょうわ 議会だより

第 24 号

平成15年

2月10日

12月定例議会



▲つる舞う形の群馬県♪ 第33回昭和村子ども会上毛かるた大会より

おもな内容

12月定例会で決めたこと (2～5ページ)

一般質問 村の姿勢を問う (9ページ)

大河原小6年生 議会傍聴記 (10～11ページ)

市町村合併視察研修報告 (12～13ページ)

読者シリーズ 聞きたい 知りたい みんなの声 (15ページ)

初議会を開催

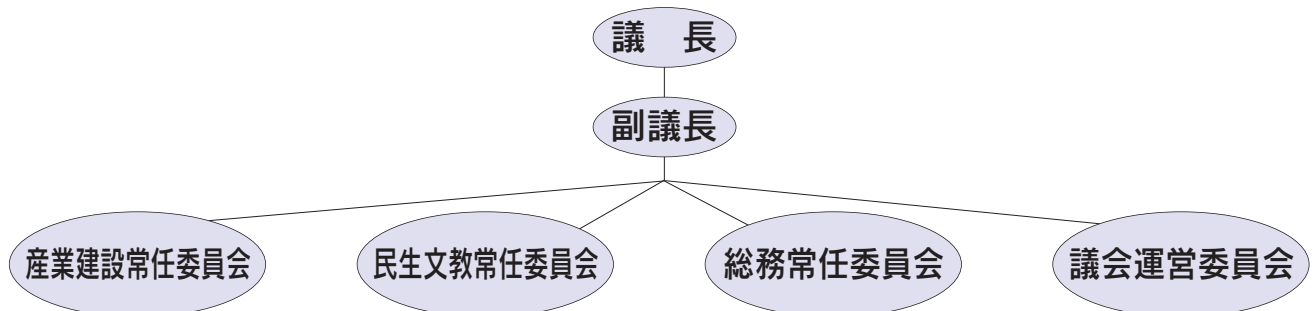


第12期村議会議員の初議会となった12月定例会は、12月12日（木）から18日（水）の7日間の会期で開催しました。

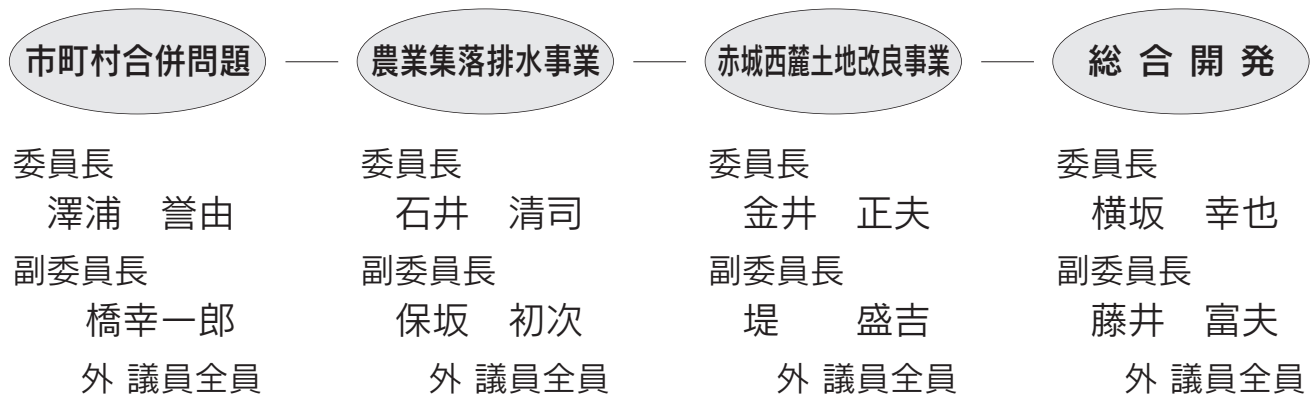
前号でお知らせした議長・副議長選挙、議員構成の他、一般会計補正予算を含む議案18件、承認1件が上程され、原案のとおり可決しました。

最終日には、大河原小学校6年生が傍聴に訪れる中、一般質問が行われ、1名が登壇しました。

議 会 構 成



対 策 特 別 委 員 会



議会議員・村3役・教育長の

期末手当が変更

(全員賛成)

平成15年度の期末手当を民間の支払い状況等を踏まえ、3月期の期末手当を廃止し、6月期・12月期に再配分します。
これにより、期末手当

の割合は、3月期は0月に、6月期が2・05月から2・25月に、12月期が2・10月から2・40月に変更されます。

村職員の給与を引き下げ

(挙手多数
反対1)

公務員給与の改定勧告により、村職員の給与の基本給の俸給表を改定し、平均2・0%を引き下げます。

の支給月額3千円を5千円に引き上げます。

期末勤勉手当は年間4・7月から4・65月に引き下げます。

扶養手当では、配偶者分の支給月額1万6千円から1万4千円に引き下げ、3人目以降の子ども

また、3月期の期末手当を廃止、6月期・12月期に再配分します。

交通指導員の手当を引き上げ

(全員賛成)

交通指導員の手当は、現状では、火災及び災害

に限定されていましたが、各種団体・各地区で

催し物を開催する場合、交通事情の現状から、交通指導員の派遣要請がさ

れています。
その回数も多く、交通

指導員の負担を軽減するために、出勤手当の支給に、その他の依頼を受けた交通指導を加えることになりました。



戸別浄化槽

分担金納付方法を変更

(全員賛成)

分担金の納付方法は、今まで、初年度に5万円を納付し、残金は4年以内に分割納付されていま

したが、一括で25万円を納付したいという声があつたため、一括納付もできるようにしました。

元氣の家・条例を制定

(全員賛成)

介護予防拠点施設「元氣の家」の施設の設置及び管理について、条例を制定しました。

総合運動公園とともに教育委員会で行いますので、利用を希望する方は、村教育委員会に問い合わせをしてください。

お問い合わせ先

昭和村教育委員会

0278(24)5120

組合規約を変更

沼田市外三箇村清掃施設組合

(全員賛成)

変更されました。

この組合は、沼田市・白沢村・川場村・本村のもやせるゴミ、し尿を共同処理してきました。今回、もやせないゴミ、資源ゴミも共同処理を行うため、一般廃棄物最終処分場・リサイクル施設の建設を行うために規約が

負担金の割合は、建設費・維持管理費ともに、沼田市が75%、三村が25%です。
三村負担分25%のうち、三村の負担割合は、人口割45%、均等割10%、搬入割45%になります。



12月定例会

補正予算

一般会計

第1保育園設計委託料など

4千604万8千円を増額

(全員賛成)

歳入・歳出それぞれ4千604万8千円を増額し、総額39億5千369万1千円になりました。

主な内容としては、第1保育園改築に伴う設計

委託料をはじめ、南小学

校に学童保育所を設置するため余裕教室の改修をすることや、住民基本台帳ネットワークシステムのセキュリティ基盤強化事業を実施するものです。

国保会計

500万円を増額

歳入・歳出それぞれ500万円を増額し、総額8億680万7千円となりました。

簡水会計

544万5千円を増額

歳入・歳出それぞれ544万5千円を増額し、総額3億9055万3千円となりました。

農集排会計

808万4千円を増額

歳入・歳出それぞれ808万4千円を増額し、総額7億4029万1千円となりました。

意見書を提出しました

登録農薬の適用拡大に関する意見書

- ・ 広範囲の作物への使用可能な、かつ適用範囲の広い農薬の登録促進の強化と農薬メーカーの経営採算に合わないといわれる農薬の開発については、国の支援措置を講ずること。
- ・ 限られた地域で栽培され、作付け面積の少ない作物を対象にした農薬登録については、農薬そのものの適用を拡大すること。
- ・ 適正な農薬使用に対する消費者の理解を向上させるための対策を講ずること。

平成14年12月18日

昭和村議会

市町村合併の強制と小規模市町村の権限縮小を行わないこと及び地方交付税の機能堅持、必要な総額確保等に関する意見書

- ・ 市町村合併は自主的に行うものであり、強制しないこと
- ・ 人口が一定規模に満たない市町村を「小規模市町村」と位置づけ、その権限を制限・縮小することは、絶対に行わないこと
- ・ 税源移譲等により、町村財源の充実確保を図ること。国庫補助負担金の廃止・縮減を先行実施するなど、単なる地方への負担転化は絶対に行わないこと
- ・ 地方交付税の持つ財政調整機能・財源保証機能を堅持するとともに、必要な総額を確保すること。

平成14年12月18日

昭和村議会

WTO農業交渉等に関する意見書

- ・ 多様な農業の共存と言う我が国提案の基本を達成出来るよう、農業の多面的機能などの「非貿易的関心事項」が配慮された約束の基準を確立すること。
 - ・ アメリカやケアンズ諸国の提案を断固拒否するとともに、MA制度の是正を含む見直しを実施し、米の総合的な国境調整措置を堅持すること。
 - ・ WTO農業交渉、生産者だけの課題ではなく、国民的な課題であることから、理解促進のための対策を積極的に展開すること。
- 「自由貿易協定について」
- ・ 農林水産物については、品目ごとの事情を十分に検討し、国内の関係品目に影響が生じないよう対応すること。
 - ・ 食糧自給率の極端に低い現状や将来の食糧需給に関する国民の懸念に十分配慮し対応すること。

平成14年12月18日

昭和村議会

群馬大学教育学部の存続を求める意見書

- ・ 群馬県における教育者育成、地域に密着した教育研究の拠点として、群馬大学教育学部を存続させること。

平成14年12月18日

昭和村議会

公平委員会委員に

加藤芳夫さんが再任



加藤 芳夫氏

公平委員会委員の任期満了に伴い、加藤芳夫さんが再任されました。

加藤さんは、昭和57年12月から平成6年12月まで村議会議員として3期活躍され、平成2年12月

から平成6年12月まで、村議会議長として、尽力されてきました。

公平委員会委員としては平成11年1月より、活躍されています。

監査委員に

澤浦 蒼由議員



澤浦 蒼由氏

議会議員の改選に伴い、議会選出の監査委員に澤浦蒼由議員が選任されました。

澤浦議員は、平成10年

から監査委員として活躍されてきました。

今後、村の会計の監視役として期待しています。

その他の議案

・専決処分
利根沼田広域市町村圏振興整備組合規約の変更

・公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

・外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部改正

・昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

・群馬県市町村総合事務組合規約の一部変更

全員賛成で、
原案どおり

可決しました。

12月定例会

議会日程

12日

本会議

議会運営委員会

総合開発特別委員会

赤城西麓特別委員会

農集排特別委員会

市町村合併特別委員会

13日

総務常任委員会

14～15日

休会

16日

民生文教常任委員会

17日

産業建設常任委員会

18日

本会議

市町村合併特別委員会

臨時議会

1月29日午前9時30分より開催。
人事案件2件が上程され、原案どおり可決されました。

教育委員会委員に

高橋 英一さん（常木）

倉沢つかささん（入原）



高橋 英一さん



倉沢つかささん

教育委員会委員の任期満了に伴い、高橋英一さん、倉沢つかささんが選任されました。

から体育指導員として、また昭和村若妻会連絡協議会会長として活躍されています。

高橋さんは、昭和61年に東小学校PTA会長として、児童の教育に尽力されてきました。

お二人には、今後も児童生徒の教育の充実のため、活躍を期待しています。

倉沢さんは、平成10年

常任委員会のうごき

総務委員会

本委員会は12月13日に役場会議室で開催しました。

請願陳情の審査では、国民本位の税制改革で景気回復を求める請願書について、実際に趣旨は理

解出来るが、全体の状態を考えるともう少し慎重な審議を要するとして継続としました。

利根沼田広域圏市町村合併に関する請願書については、現段階では結論

が出ていないが、本村は資料提供等進めてきているところでもあり、市町村合併問題対策特別委員会と協議をするとし継続としました。

アメリカのイラク攻撃計画の中止を求めると共に有事法制関連法案に反対する陳情については、日本として重大な問題であり、日本国憲法に関わる問題でもあり、慎重に検討する必要があるとして継続としました。

国民本位の公共事業の推進と県内の国土交通省出先機関の執行体制等の拡充を求める陳情については、慎重な審議が必要として継続としました。

また、委員会所管事項の村営住宅について審査会を設立して検討することになりました。

昭和の森ゴルフ場・山荘の利用状況等は、まずまずとの報告がありました。

▲総務委員会より

民生文教委員会

本委員会は12月16日に役場会議室で開催しました。

請願陳情の審査では、群馬大学教育学部の存続を求める陳情については、県内の教育者養成、地域に密着した教育研究の拠点として採択しました。

他5件の請願陳情等については、慎重な審議が必要と言ったことから継続としました。

その後貝野瀬地区に建設中の、知的障害者授産施設「星夜の森学舎」、第1保育園建設地発掘調査状況（旧東中学校跡地）、ゴミ最終処分場、



▲昭和東学童クラブ

第2保育園の園庭整備状況。昭和東字童クラブの事業の進行状況について現地調査を行いました。

なお、昭和南字童クラ

ブは、平成15年4月8日開校予定で準備を進めていますので、有効利用をお願いします。



▲第一保育園建設予定地発掘調査を視察

産業建設委員会

本委員会は12月17日に役場会議室で開催しました。

請願陳情の審査では、農産物の輸入が増加している野菜果物などの対中国セーフガードの即時発動を求める請願では、本村のこんにゃく・野菜等が中国からの輸入が増加している中、本村の農業を守る事により全会一致で趣旨採択しました。

安全対策に関する要望（PTA）では、本村の通学路11カ所の現地調査を行った結果、行政で行うべきところは行政で行い、地域の協力を得られる所は、地域で行い、児童生徒の通学の安全を早急に図ることが必要であるとし、全会一致で採択しました。

第1保育園の建設に



▲鹿よけネット現地調査 効果は！？

あたり、送迎の安全対策を求める陳情では、現地調査を行った結果、早急に園児の安全を図るためには必要であるとし、地元住民の生活道路として活用されて

いる現状から、交通の安全を図るため必要であるとし、全会一致で採択しました。

登録農業の適用拡大について、現在の状況等話し合った結果、適用範囲の拡大は必要とし、意見書発議を行うことになりました。

特別委員会のうごき

市町村合併問題

対策委員会から

12月18日

利根沼田市町村任意合併協議会に「参加」か「不参加」かの論議を、委員全員の出席により行いました。

その結果、他の市町村のデーターを集め、住民に示し、住民の皆さんと

利根沼田市町村 任意合併協議会に参加を決定



▲研修会のようす

群馬県総務部地方課より講師として、行政係主幹星野恵一氏を招き、群馬県における市町村合併のうごき等について研修を行いました。

研修会開催

また住民の合併に対する意識調査を実施しようと言うことで、18歳以上の全村民を対象にアンケート調査を行うことを決定しました。

共に合併問題を考えていくためにも、当協議会に「参加する必要があるのでは」、「参加したらずると合併になってしまふのではないか」、「法定協議会とは違い任意協議会で出入り自由なのだから、参加をして、その後状況を見ながら考えては」、等の意見が交わされ、賛成多数で参加することに決定しました。

全員協議会から

1月29日

合併に関するアンケート

目的は意識調査

市町村合併に関する住民の意識を把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

参考とするためのものです。

このアンケートは、合併をするか、しないかを決めるものでなく、今後村の方向を考えていくときに、住民の皆さんが合併に関してどのようなイメージを持っているかを

アンケートは、2月上旬に区長さんを通して、各家庭18歳以上の方に配布します。この機会に、ご家族で話し合いながら、昭和村の将来について考えていただきたいと思っています。

ご協力をお願いします。

第1保育園建設経過報告

第1保育園建設が平成15年度に行われることになり、今までの経過報告が行われました。

また保護者会から求められていた、遊戯室の床暖房については設置されることになり、建設費の

総額は、約2億8500万円です。

第1保育園は平成16年3月中旬に完成予定で、平成16年4月からは新しい園舎での保育が始まることとなります。

一般質問

村の姿勢を問う！



林 幸司議員

全国町村長大会「緊急重点決議」

村長の決意は

Q 「強制するな、町村合併」「切り捨てるな、小規模市町村」「確保せよ、地方税源」「堅持せよ、地方交付税」の4項目の決議について、村長の決意のほどを聞きたい。

A 村 長

市町村合併とは、決して強制されるものではなく、住民の意思を反映した市町村の自主性によるものであると思います。

村としても、地区別座談会等で貴重な意見をいただき、これからも村民に対し情報を積極的に提供し、合併問題に取り組んでいきたいと考えています。

また、今回の広報しよ

うわ合併特集号、座談会においても、合併しない市町村のみが合併しなかったことにより、普通交付税が減額されるとは申し上げていません。

化石林の保護を

Q 片品川の川辺の浸食状況と、水辺整備地や化石林の存在地の状況は。

A 教育 長

昨年夏頃、左岸の昭和村側が流水により崩落し、切り株上に見えていた化石林がかなり流出してしまいました。

その上部には池があり、水がきれいなため、ゲンジボタルや国蝶「牙

オムラサキ」の成虫が、7月から8月にかけて見ることが出来ます。

Q 化石林の歴史的・文化財価値と保存対策は

A 教育 長

本村の化石林のように立木のまま水没し化石化した話は耳にしません。文化財としての価値は高いと考えます。保存対策については、自然保護の研究者等のアドバイスを受け、目下調査検討中です。

公設民営での 子育て保育園の 改築は

Q 村内保育園3園のバランス、民間法人の財政状況も踏まえ、「公設民営方式」の検討を提案する。

A 村 長

将来に備え、社会福祉法人に変更する準備を進めていると聞いています。現在の園舎は、築後31年を経過し、かなり老朽化しているようですが、法人から改築の話は聞いていません。話が出てきた段階で検



▲化石となった樹木 約10万年前のもの

30人以下学級の 実施を

Q 学級減をくい止め、イジメや不登校のない教育へ、30人以下学級の実施を求める。

A 教育 長

県では、村が学級数を変更することを認めていません。学校長と相談し、補助員で対応するよう考えています。

討したいと思っています。

大河原小6年生が

議会を見学

大河原小学校6年生が、12月定例会最終日に傍聴に訪れました。

初めての議場の雰囲気にも、みんな緊張しているようでしたが、真剣な表情で議会の進行を見守っていました。



▲初めての議会に少し緊張さみ!?



林 駿一くん

議会を見ていて学校のことや赤城山のことも地域のことを話し合っていることが分かりました。議会の雰囲気や進め方がわかりました。知っている議員さんもいました。



見城 貴幸くん

議員さんには、一人一人番号がついていて、議場に入る時と出る時、礼をしていました。議長さんの所には、そばに飲み物が置かれていて、議会にも休憩時間があるのだなあと、初めて知りました。



星野 菜穂さん

議会でどんなことを話し合うのだろうという事を考えながら向かいました。話し合っていたことは、合併の事、化石林の事、保育園改築の事などでした。私がこの中で一番気になっていた事は、合併の事です。合併は強制的にはやらないと聞いて安心しました。見学に行つて、社会の事が少し分かったような気がします。



根岸 茜さん

議場に入ったとたん、静かだったので緊張しました。化石林の話では、林議員さんと村長さんが意見交換していました。その時、議長さんが、林議員さんに、「もち時間が、きれました。」と言いました。私は、「もち時間があるのだ。」と思いました。



加藤 潤さん

国会の小さい版みたいでした。討



石井 孝和くん

議長さんが議員さんを、君と呼んでいて、すごく驚きました。他にいろいろの事を聞きました。見学をして、議員さんは、僕達の見えないところで働いているのだということがわかりました。



江田 彩香さん

議場は国会のミニチュア版みたいだなあと思いました。議長さんに何番議員と呼ばれたら前に出て意見などを発表していました。合併の話が出て、合併しないでもいいなあと思いました。このあとの村はどうなるか?とかも議会で決めるのかなあと思いました。議会はどんなものなのか分かって良かったです。

論の進め方がまとまっていて、すごいなあ。と思いました。話は長かったけど、説明が詳しくて分かりやすかったです。見学に行つて良かったと思いました。



金子 睦実
さん

議会が始まると最初に、説明・反対意見・賛成意見という感じで進められていました。けれども、学級での話し合いみたいに遅くなく、とても速いのに、1時間以上もかかることが、すごいと思いました。議会は、村を良くしようという大事な会議だということがわかりました。



松崎 智史
くん

議会は予想していた所とだいたい同じでした。話を聞いていたら、あるところを、繰り返し話していることがありました。話の内容が、難しかったです。話の流れが速くて追いつきませんでした。



吉澤 大
くん

議員さんが村や小学校のことをよく知っていて、すごいなあと思いました。初めに合併について話し合っ

ていて、ぼくは、合併したらどうなるのだろうと思いました。小学校のことを教育長さんが議員さんに答えていました。議会が見学できてよかったです。



柳岡 梓
さん

議員さんたちの様子は、真剣なところや、和やかなところもありました。内容は、市町村の合併や、学校関係のことなどでした。でも、議員さんの話しが早くて、あまりわかりませんでした。気づいたことは、女の議員さんがいなかったことです。



木村沙也華
さん

議場には、赤くて大きいじゅうたんがひいてありました。スゴイなあと思いました。議員さんの名前の書いてある札があつて、「固定されているのか」と思いました。内容は市町村合併や小中学校の様子などがあったので関心をもつて聴くことができました。



伊藤 友香
さん

私は、見学している時、少し緊張していました。議会の雰囲気がとても静かだったからです。議長が「何々議員」と言つて、自分の名前をよばれたら、前に出て意見を発表していて、議会がどんな流れで進むのかわかりました。



林 沙耶佳
さん

議場に入つて一番に、広いなあと思いました。話を聞いていると市町村合併や化石林などのことを話していました。でも、難しい言葉を言っていたり、次に進むのが早かったりしました。議員さんたちは、すごいなあと思いました。



阿部 桜
さん

初めに見た感じは、名前の書いてある板があるなど、国会に似ていて、予想していた話がいくつかありました。



小林みゆき
さん

私が知らなかった村の事がたくさん出てきました。自分の村が、どんなふうになっているかが少しでもわかったので、いい見学だったと思います。

議場に入ると、国会の縮小版と思いました。議会が始まると、わからない言葉が色々出てきました。発言が終わった後に、議員さんが、声をあわせて、「異議なし。」と言うところが一番に残っています。



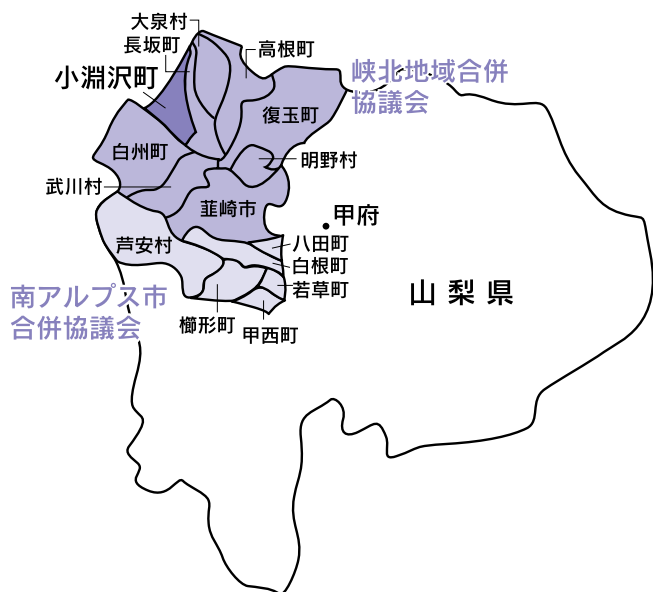
吉野 泰広
先生

担任の先生から

児童の生まれ育った地域をより良くするため、村議会が果たす役割を身近に感じられたと思います。村議会選挙の際には、保護者と一緒に投票所に出掛け、村政に自らの意志を表す親の姿や本当の選挙の様子を目の当たりにして、携わる人たちの真剣な態度を感じたようです。それゆえ選挙で選ばれた議員さんたちと興味深く見学できました。児童たちは市町村合併については関心が高く、この件の議事については真剣に聴いていたようでした。

議会視察研修報告

市町村合併問題対策特別委員会視察研修は1月23日（木）24日（金）の1泊2日で山梨県の小淵沢（こぶちざわ）町（峡北地域）と南アルプス市合併協議会（峡西地域）にて行ないました。



▲小淵沢町を訪問

〈小淵沢町の歴史〉

先土器時代…約1万年前人が住み始める
縄文時代…町内で発見された60ヶ所以上の遺跡が示すように多くの人が生活
鎌倉～戦国時代…武田氏の支配を受けるようになる
江戸時代…新田や堰の開発が盛んに行なわれ、徐々に村の形が整えられる。
明治27年…小淵沢村、篠尾村の誕生
昭和29年3月31日…両村が合併して小淵沢町誕生
昭和51年…中央自動車道「小淵沢インター」完成
昭和61年…国民体育大会「かいじ国体」馬術競技会開催
昭和63年…NHK大河ドラマ「武田信玄」ロケ
平成12年…「葵徳川三代」ロケ
平成13年…「利家とまつ」ロケ
平成14年…「武蔵 MUSASHI」ロケ
平成13年…「市町村合併検討会」設置、住民アンケート実施
平成14年…「市町村合併委員会」設置、住民アンケート実施
「峡北地域合併協議会に加わらない決議書」提出

〈南アルプス市合併協議会の歴史〉

中巨摩郡の西部、釜無川右岸に広がる御勅使川の扇状地とその上流部の南アルプス山系からなる古くは水に苦しんだ干ばつ地帯であったが上水道、土地改良事業により飲用水、農業用水が確保された。
・ 峡西青年会議所が昭和53年創立以来合併についての調査“研究”広報活動を積極的に推進
・ 平成9年7月17日「峡西地域市制推進協議会」設立
・ 平成10年12月10日合併協議会設置。請求書を提出
有効署名（告示数21,608）を添えて、6町村長に対して**直接請求（住民発議）**を行なった
・ 平成14年10月17日合併協定調印式
・ 平成15年4月1日新市（南アルプス市）誕生

		小 淵 沢 町	南アルプス合併協議会	昭 和 村
人 口 (人)		6,078	71,124	7,986
世 帯 数 (地帯)		2,256	22,193	2,111
総 面 積 (km ²)		33.14	264.06	64.17
土 地 利用状況 (km ²)	宅 地	2.14	14.31	2.06
	農 地	7.61	31.62	26.31
	山林等	18.60	193.36	10.04
産 業		・稲作、花卉、高原野菜など 中心とした農業 ・精密、バイオ関連企業 ・高原リゾートとしての観光 業	・モモ、スモモ、サクランボ などの果樹産地 ・甲西工業団地 ・南アルプスの観光	・こんにゃく、高原野菜、施 設園芸などの農業村 ・精密関連企業 ・商工業 ・観光、昭和の森、りんご狩り
決算状況 (千円)	歳入	3,545,443	28,868,854	4,646,160
	歳出	3,349,221	27,810,718	4,305,708
財 政 力 指 数		0.523	0.403	0.256
職 員 数 (人)		66	653	100
議 員 数 (人)		16	95→30	16
特 徴		・鈴木町長のリーダーシップ による行政改革で基準財政 収入額の伸び率は山梨県で トップとなり全国の自治体 から元気な町として注目さ れている (勤務評価、ISO14001、入 札制度)	・甲府市のベッタタウン 持家制度等による住宅施 策の推進により人口増加 率4.15%となっている ・大規模小売店舗は13店舗 が出店している	・農業を中心とした村 日本一のこんにゃく生産 地と河岸段丘

※財政力指数…1に近いほど財務力があり財務内容が良いとされ一般的には地方税の指標となる



今回の視察目的であります、市町村合併の取り組み方について両極端の勉強をさせていただき熱心に聞き入る議員の目の輝きが特に印象的でありました。

トップ（首長）の強力なリーダーシップで自主財源の確保に努め「小さくても、自立できる小淵沢町」を目指す鈴木町長。住民発議というスタイルから出発し、生活圏のつながりの強い南アルプス市合併協議会。

本村でも平成15年1月10日に任意合併協議会への参加が決定され、住民アンケートも実施されることになりましたが、合併のメリット、デメリットを村民の皆様要充分に理解していただき、村の将来への決断を民主的に決定することが望まれます。



みなさんからの請願・陳情



自：平成14年11月8日

至：平成14年12月9日

受理 番号	受 理 年月日	件 名	陳情者の 住所・氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会	審議結果
1	H14.11.8	輸入が増加している野菜・果物など農産物の対中国セーフガードの即時発動を求める請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他 1 名	林 幸司	産 建	趣旨採択
2	H14.11.8	国民の主食・米の生産を守り、国民に安定供給をはかる米政策の実現を求める意見書	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他 1 名	林 幸司	産 建	趣旨採択
3	H14.11.8	中小業者の営業とくらしを守り、地域経済復興を図る請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他 1 名	林 幸司	産 建	継 続
4	H14.11.8	国民本位の「税制改革」で景気回復を求める請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他 1 名	林 幸司	総 務	継 続
5	H14.11.8	物価スライドの凍結解除による年金の減額をはじめ、年金制度の改悪に反対し、最低保障年金制度の創設を求める陳情書	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他 1 名	林 幸司	民 文	継 続
6	H14.11.8	住民基本台帳ネットワークの凍結に関する請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎	林 幸司	民 文	継 続
7	H14.11.8	利根沼田広域圏市町村合併に関する請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎	林 幸司	総 務	継 続
8	H14.11.8	介護保険制度の充実を求める請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他 1 名	林 幸司	民 文	継 続
9	H14.11.8	アメリカのイラク攻撃計画の中止を求めるとともに有事法制関連法案に反対する陳情書	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他 1 名	林 幸司	総 務	継 続
10	H14.11.8	義務教育費国庫負担堅持を求める請願	全群馬教職員組合 執行委員長 萩原貞夫 他 1 名	林 幸司	民 文	継 続
11	H14.11.8	教育の充実を求める要請書	国民大運動利根沼田実行委員会 委員長 木村朝次郎他 1 名		配布のみ	
12	H14.11.13	木製の児童生徒用机・椅子等の推進についての要望	群馬県林務部長（林業振興課） 他 1 名		配布のみ	
13	H14.11.21	義務教育費国庫負担制度の現行水準の維持に関する意見書の提出についての陳情	群馬県教職員組合 執行委員長 磯 奉一		民 文	継 続
14	H14.11.21	国民本位の公共事業の推進と県内の国土交通省出先機関の執行体制等の拡充を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合 関東地方本部群馬県協議会 議長 渡辺 万善男		総 務	継 続
15	H14.11.26	群馬大学教育学部の存続を求める陳情書	全群馬退職教職員の会 会長 田部井三郎他 1 名		民 文	採 択
16	H14.11.26	安全対策に関する要望書	昭和村 P T A 連絡協議会 会長 堤 裕順		産 建	採 択
17	H14.11.26	W T O 農業交渉等に関する意見書の採択と提出について（要請）	利根沼田農業協同組合 代表理事組合長 大嶋 正		産 建	採 択
18	H14.12.9	第 1 保育園の建設にあたり、送迎の安全対策を求める陳情書	第 1 保育園保護者会 会長 青木敏二 他 3 名	小野一男 林 幸司	産 建	採 択



吉沢 充 彰さん

今年の1月10日読売新聞の群馬版に、利根沼田9市町村で任意合併協議会設立の見出しで2005年3月までに合併の可能性について、本格的に議論する旨の記事に、準備もしていないのに間近に台風が来る様な不安を

感じ、先日村から配布された、市町村合併を考える、冊子を見直したら、県の合併に対する考え方が、住民の参加のうえで考え方を把握し意見の反映で合併を決める事が判り、もつと個人での勉強が必要だと思いました。



木村 恵 一さん

合併問題は難しいですね、村の収入の半分に当たる地方交付税を減らされては合併する方向に考えざるを得ないと思いますし、国も税収が上がらないので地方交付税を減らして経費の節約という方向ですよね、パソコンの普及により事務能力が

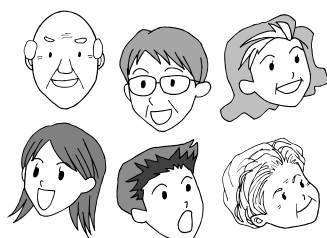
上がり少数人数でも対応出来る所は経費の削減というメリットがあると思いますが、教育、産業、文化、建設など部門に分かれて充分に話し合い合併するとしたら、沼田市方面かまた、利根村、赤城村方面と両方から考え、メリット、デメリットを

11月末、各集落別の合併の説明と、話し合いをもたれた時、私達の集落では二割にも達しない出席者でしたが、他の集落でも同様な集まり方であったと聞いております。次の機会には多数の方が参加される事を願っております。

また村にお願いしたいことは広域圏の合併だけにとらわれずに今までの昭和村の良いところを持続出来る様な合併案を、私たち住民が選択出来る様、お骨折りをお願いしたいと思います。

老いたい・知りたい みんなの声

テーマ：合併について



話し合い、たぶんデメリットが多くなるかと思いますが、その部分をどう補って行くのか皆さんで知恵を出し合い、考えて行かなければならないと言ふことかなと思います。



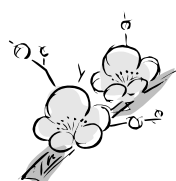
橋 明 香さん

「合併」という言葉を聞いても私にはまだピンときません。新聞によると太田・桐生、万場・中里や渋川地区市町村、そして利根沼田の9市町村。もちろんその中に昭和村も入っています。もし沼田と昭和村が合併したら、昭和村でなくどのような名前の市になるのだろうと考えます。そして合併したら税金が高くなってしまうか不安です。

合併問題は国の方針と聞きます。私は、どうして全国のさまざまな市町村の合併を進めているのか理解出来ません。

多分、私の他にも合併を進めている理由を理解していない方もいると思うので、そのためにも合併理由を正確に説明していただきたい気持ちです。

2005年までに合併と新聞に記載されていましたが、まだ具体的に私達村民との話し合いが設けられていないため理解しにくいのです。現在の沼田市を見てみると沢山あったはずの店がなくなり、公共の駐車場となっているのが目に



議会を傍聴して



大河原小学校 校長
白井 博さん

六年生担任より、『社会科の授業で「議会の働き」を学習するのですが、本会議を見学できないでしょうか』との話があり、申し出たところ快く了承していただきました。議会という重々しさを感じていた子供達は、「地方議会を身近に」感じたことと思います。

議案の一覧や資料等を見ながら、議場の配置や審議の進め方、国民全体から村民の生活に関わる幅広い諸課題の解決に向けて審議していることを実際に見たり、聴いたり、メモをとったりしながら学習してきました。

見学終了時には、議長さんから本校の「将来の議員さん」たちに声をかけていただき子どもたちの顔には喜びの笑みで溢れておりました。

子どもたちが新たな知識と感動を学んだ「議会の傍聴」でした。

議会のうごき

11 月

- 3日 村内バレーボール大会
- 8日 昭和村第1保育園創立30周年式典
- 11日 秋の道路愛護巡視
- 15日 第18回全国消防ポンプ操法大会優良賞受賞祝賀会
- 18日 広域圏定例議員協議会
- 22日 第43回昭和村文化祭
- 23日



12 月

- 12日 12月定例議会
議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会
総務常任委員会
民生文教常任委員会
産業建設常任委員会
昭和村総合開発対策特別委員会
昭和村農業集落排水対策特別委員会
赤城西麓土地改良事業対策特別委員会
市町村合併問題対策特別委員会
- 25日 昭和村障害者福祉計画策定委員会

1 月

- 5日 消防出初式
- 7日 議会だより編集委員会
- 10日 利根沼田市町村任意合併協議会設立総会
- 12日 昭和村第45回成人式
- 16日 村内教育関係施設等巡回調査
- 17日 議員研修会
- 20日 郡定例議長会
- 23日 市町村合併問題調査研究会
- 24日
- 28日 むらづくりINしょうわ講演会
- 29日 臨時議会

雪の多い年は豊作と言います。3月になれば春らしくなり、過ごしやすく、一日つつ暖かくなります。

今なんと言っても大きな話題は、市町村合併で多くの人が心配しています。

皆さんで、話し、議論する事によって村の進むべき良い方向が出ると思いますので、村民一人一人が合併に関心を持つことが、良い村づくりの発展につながると思います。

私達も多くの事を、出来る事から取り組んで行き「議会だより」が皆さんに愛される様に、努力する事を誓い、引き続きご愛読頂ければ、幸いです。

正雄記

